

ニ對シ調査中ニシテ可否ニ對シラモ二十三日迄ニ回  
答シ兼ネル尙將來ニ於テモ之レヲ確保ノ上ニ非ラザ  
シバ決定スルニコトヲ得ヤルヲ以テ與ノ旨回答シ置ク  
ト言渡シタルニ職工側ハ現在ニ於テモ親方割及ナル  
が政ニ不安ナレバ會社ニ於テ吾等ノ就業ニ對シ保証  
セラシ度シト要求スルニモ會社ハ親方トノ間ニ契約  
ナリテ親方ヲ除クテ是ノ交渉ニ應ジ難トト拒絶シテ

八 詮 邊

一 従業員側

従業員側代表ハ前項ノ如ク會長ニ拒絶サレタル爲メ  
正々ニ臨向置奉部ニ到リ對策ヲ協議シタルハ一部硬

派ハ會社が誠意ヲ以テ解決スル意思ナキモノト認メ  
ラル。ヲ以テ直々ニ争議ヲ決行マヘシト主張シ結局  
時期尚早ナリトシ懸慮ノ上會社ニ交渉ニ平和的ニ解  
決スル様努力スルニトニ決シタルモ小川組川端組山  
田組各従業員ハ毎日既ニ怠業気分ニ出スルニ至レリ  
翌廿日ハ各従業員ハ全刻出勤ノ上小川組川端組西尾  
従業員ハ怠業シ山田組ハ怠業シタルモ西尾ニ至リ各  
組其本々ハ午後ヲ休業トセラレ度シト親方ニ申出テ  
承諾ヲ得テ組合置奉部ニ急集シ別報ノ如ク文部發會  
式ヲ舉行セリ

二 會社側

會社ニ於テハ工場経営者對京阪西地ノ請負業者ニ請